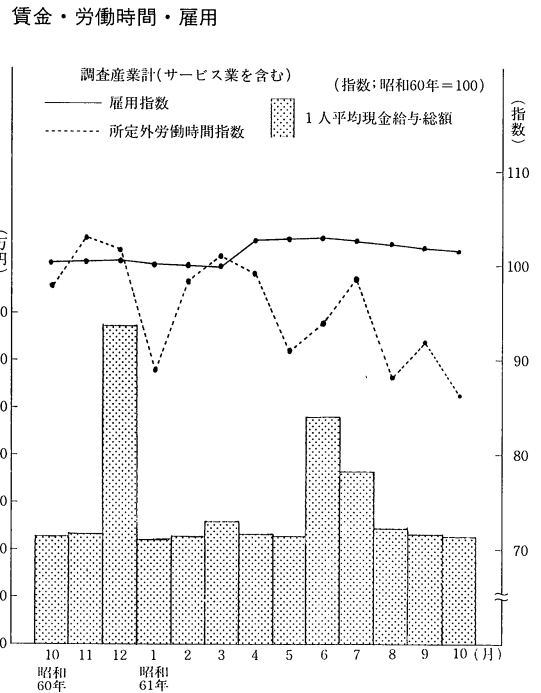
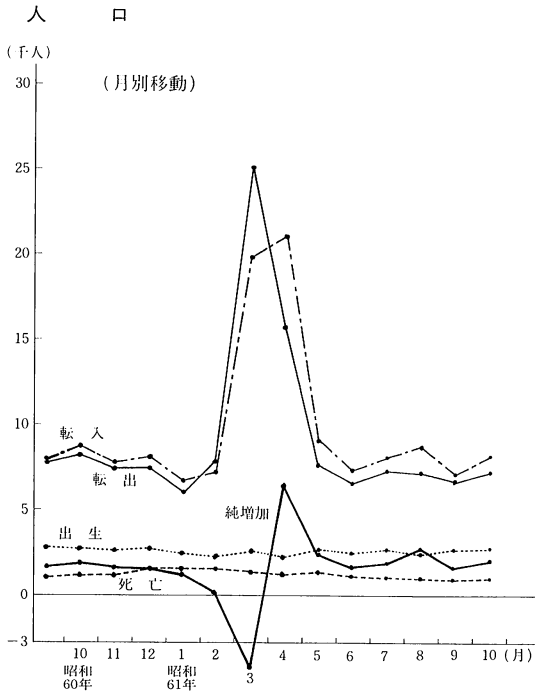
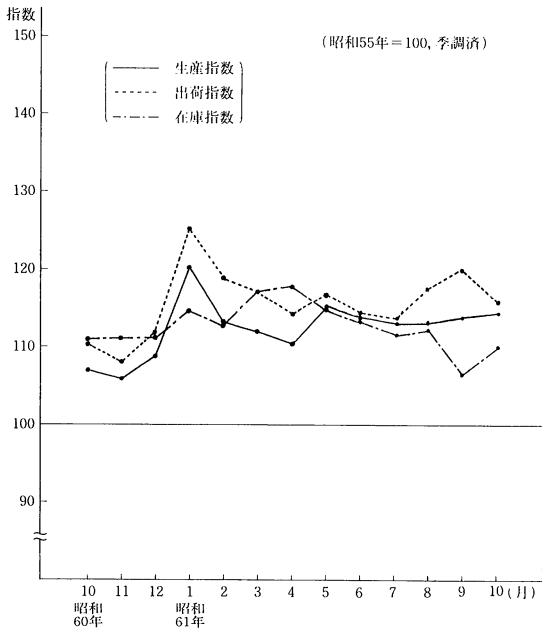


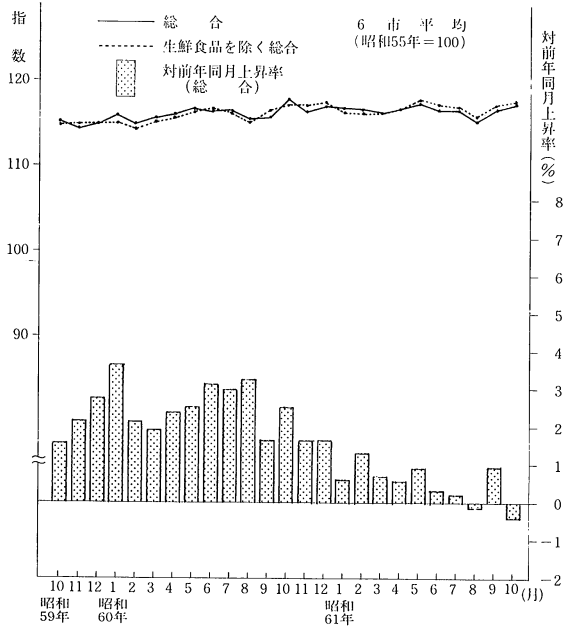
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部統計課

■ 人 口 (11月1日)

本県の人口は、10月中に2,339人増加し、11月1日現在で2,748,649人(男1,370,130人,女1,378,519人)となった。昨年11月1日現在と比較すると、21,556人(0.79%)の増加である。

内訳は、自然動態で1,486人(出生2,822人,死亡1,336人)、社会動態で853人(転入8,347人,転出7,494人)、そ

れぞれ増加した。

市町村別では、増加が15市59町村,減少が4市13町村,増減なしが1村である。

世帯数についても、894世帯増加して、770,732世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (10月)

1. 平均賃金の推移

10月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は231,486円で前月に比べ1.5%減(前年同月比0.1%減)であった。

このうちきまって支給する給与は229,897円で前月に比べ1.3%減(前年同月比1.3%増)であり、特別に支払われた給与は1,589円で前年同月に比べ3,378円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は175.6時間で、前月に比べ1.3%減(前年同月比1.5%減)であった。

このうち所定内労働時間数は159.9時間で、前月に比べ0.8%減(前年同月比0.4%減)であり、所定外労働時間数は15.7時間で、前月に比べ6.0%減(前年同月比11.8%減)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると102.0で、増減率は前月に比べ0.3%減,前年同月に比べ1.4%増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (10月)

本県における昭和61年10月の“鉱工業指数”(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が114.6、出荷が115.9、在庫が110.1で前月比は、生産が0.3%の上昇,出荷が3.3%の低下,在庫が2.4%の増加であった。前年同月比(原指数)は、生産が7.5%の増加,出荷が4.5%の増加,在庫が0.9%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、精密機械工業、石油・石炭製品工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、窯業・土石製品工業、電気機械工業等が低下した。出荷では、精

密機械工業、石油・石炭製品工業、木材・木製品工業等が上昇し、一般機械工業、窯業・土石製品工業等が低下した。在庫では、食料品・たばこ工業、鉱工業、精密機械工業等が上昇し、木材・木製品工業、繊維工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、建設財等が上昇し、資本財、鉱工業用生産財が低下した。出荷では、その他用生産財、建設財等が上昇し、資本財、鉱工業用生産財が低下した。在庫では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、鉱工業用生産財のみが低下した。

■ 消費者物価指数(10月)

昭和61年10月の茨城県消費者物価指数は、総合で117.4(昭和55年=100)となり、前月比0.4%の上昇,前年同月比△0.4%の下落となった。

今月上がった主な項目……果物18.2%,生地・他の被服類4.1%,衣料2.8%,乳卵類1.9%,シャツ・下着1.7%

今月下がった主な項目……魚介類△2.9%,他の光熱△1.8%,野菜・海藻△1.3%,家庭用耐久財△1.3%,肉類△1.2%

生鮮食品を除く総合は117.7となり、前月比0.3%,前年

同月比0.3%の上昇となった。

費目別指数

(昭和55年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	117.4	0.4	△0.4	保健医療	118.9	0.1	1.5
食 料	116.3	0.4	△1.7	交通通信	110.3	0.1	△1.3
住 居	122.0	0.3	2.7	教 育	146.0	0.0	4.1
光熱・水道	100.5	△0.3	△7.2	教養娯楽	119.2	0.4	1.4
家具・家事用品	110.5	△0.2	△0.1	諸 雑 費	118.3	△0.1	3.3
被服及び履物	125.5	2.4	0.3	生鮮食品を除く総合	117.7	0.3	0.3